



令和元年度 小笠原村立小笠原小学校

学校だより

9月号 (R1. 9. 2)

TEL 04998-2-2012

校長 横山 優美

体験することが学びの基本

校長 横山 優美

夏休みが終わり、子供たちの明るい声が校舎に帰ってきました。主役の子供たちが戻ると、校舎が輝いて見えるから不思議です。私は、この夏休み明けの子供たちの姿や表情を見るのが大好きです。始業式で久しぶりに会った子供たちは、体つきが頼もしくなり、表情や行動が以前よりもしっかりと見えます。成長期の子供たちなので当然かもしれませんが、いろんな体験を通して心もたくましくなったから、なおそう感じるのだろうと思います。夏休みには普段できない貴重な体験をたくさんすることができたのではないのでしょうか。その体験の学びを今後の生活にぜひとも生かしてほしいと思っています。

「何かを学ぶためには、自分で体験する以上にいい方法はない。」これはドイツ生まれの物理学者（理論物理）アルベルト・アインシュタインの言葉です。人は自分で地道に積み重ねて体験したことは真にわかるともいわれます。例えばテスト勉強で、参考書などにうまくまとめてあるものを付け焼刃で覚えても、テストが終わるとすぐに忘れてしまいます。ところが、自分で体験したり、よく考え工夫してまとめたりした内容は不思議とよく覚えていて、他の場所で役に立つことがあります。これは、自分で苦労して地道にくり返した「体験」が真の学力や対応力・判断力として根付き、応用力にもなっている場合があるのです。様々な学びを苦労し、工夫し自分で納得して楽しんでいく「体験」があってはじめて、自分の多様な能力となっていくわけです。

毎日の学校生活や学習もまさに体験活動です。その中で子供たちは人として必要なことを学んで成長しています。学んだことを知識として蓄えることが目的ではありません。今、求められている力は学んだことをもとに、自分で考え、創造し、実践していく力です。実践の段階では、試行錯誤を繰り返し、失敗することも多いでしょう。逆に失敗の数だけまた、成長していくのかもしれない。2学期が始まりました。夏休みの貴重な体験や2学期の様々な体験を積み重ねて、真の学びを積み上げてほしいと思います。

夏休み期間に大きな事故やけが等なく、安全に子供たちが生活できましたのは、保護者・地域の皆様のおかげです。ありがとうございました。2学期が始まるにあたり、子供たちの夏休みの思い出についてたくさん話を聞き、一人一人の様子を把握したいと思います。保護者の皆様も休み中や休み明けで何か気になることがありましたら、遠慮なく学校にご相談ください。長期休業の生活のペースを徐々に学校のサイクルに戻していくことが今からの1週間の課題です。今学期も引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。

行事予定

1	日	ニュース検定	17	火	運動会特別時間割(始)
2	月	始業式、避難訓練	18	水	音楽集会 保護者会(6年母島移動教室説明会)
3	火	弁当(始)	19	木	
4	水	誕生日集会 安全指導 ハンカチC 夢先生授業(5年) ヨーグルト飲料	20	金	クラブ
5	木		21	土	青灯ブイ撤去
6	金	SC	22	日	
7	土		23	月	秋分の日
8	日		24	火	全校朝会 運動会合同練習(5校時)
9	月	全校朝会 水泳指導(終)	25	水	運動集会 芝のみ(ワスホなし) ヨーグルト
10	火		26	木	
11	水	ゲーム集会 ワク芝 ヨーグルト	27	金	SC
12	木	発育測定	28	土	青灯ブイ撤去(予備日)
13	金	クラブ SC	29	日	
14	土	学校公開	30	月	全校朝会 運動会予行
15	日		1	火	都民の日
16	月	敬老の日 敬老大会(3年)	2	水	振替休業日

SC・・・スクールカウンセラー来校日

※14日(土)に予定されていた保護者会につきましては、保護者会実施時間が入港時間帯と重なるため、18日(水)に変更いたします。

<安全目標>

○階段やろうかを静かに歩いて、 教室移動をしよう

低学年

廊下や階段は右側を静かに歩こう

中学年

廊下、階段の曲がり角に気をつけて歩こう

高学年

新校舎へ静かに移動をしよう

右側を静かに歩きましょう。また、新校舎へ移動する時は、中学生が授業に集中できるよう、静かに歩きましょう。

<生活目標>

○生活にけじめをつけよう

低学年

生活リズムを整えよう

中学年

ルールを守ろう

高学年

時計を見て行動しよう

生活リズムを整え、学校でのルールを守り、友達と仲良く元気に学び合いましょう。

9月中旬から運動会の練習が始まります。体調を整え、力いっぱい練習に取り組めるよう、けじめをつけた生活を心がけましょう

学びの場

担当 山崎 友紀乃

夏季休業期間中の7日間、4・5・6年生の学びの場を行いました。

参加児童は、通常通り元気良く登校し、8時から8時45分まで、45分間、自分の課題に集中して取り組むことができました。前年度や1学期の学習の復習を行い、基礎学力の定着を図ったり、生活と学習のリズムをつくり、新学期に向けての準備をしたりしました。

今年度参加した児童はのべ207名です。2学期の気持ちのよいスタートにつながりました。



夏季水泳指導

担当 阿部 大樹

夏季休業期間中の7日間、低学年と高学年に分かれて、夏季水泳指導を行いました。今年度の夏季水泳指導に参加した児童はのべ443名です。

普段海で遊ぶことに慣れている児童ですが、プールで1学期の水泳授業の復習やフォームの確認をしたり、進級にチャレンジしたりしました。

参加した児童からは、「長い距離を泳げるようになった。」「友達と一緒に楽しく泳ぐことができた。」などの感想が聞かれました。



父母学習交流会（7月1日）

担当 綿貫 一明

7月1日（月）に母島小学校との父母小学校交流を行いました。母島小学校の児童は4年生～6年生の15名です。

この日はそれぞれの学年で交流を主とした学習だけでなく、休み時間なども一緒に遊びました。また、クラブ活動も一緒に取り組みました。

父島では当たり前のドッジボールなど、大人数の遊びが母島の児童にとってはとても良い体験となったそうです。お互いのこれからにつながるよい交流となりました。



遠泳大会（7月7日）

担当 浅野 晴美

7月7日（日）に遠泳大会が行われました。この日に向けて、6月から子供たちはめあてをもって練習に取り組んできました。高学年は約400m、中学年は約100m、低学年は水遊びに挑戦し、子供たちは全力で頑張りました。

当日はたくさんの保護者の皆様に応援していただきました。保護者や地域の皆様にご協力をいただいたお陰で全員完泳できました。この頑張りや達成感を糧に、これからも様々なことに挑戦してほしいと思います。ご協力ありがとうございました。



3年生紹介

担任 武村 健司

エネルギーいっぱいの3年生です。1学期から始まった総合的な学習の時間「南洋踊り」では、振り付けや歌をしっかりと覚えられるようにと、丁寧に練習を重ね、返還祭では力を合わせて踊り切ることができました。

2学期の運動会では、たくさんの方々と踊れることを3年生一同楽しみにしています。まだまだ練習していきます。運動会当日は、ぜひ地域・保護者の皆様も一緒に踊ってください。

今年度のたくさんのチャレンジと経験を通して、よりいっそう優しくたくましく成長してほしいと思います。

ミルク給食について

担当 阿部 大樹

本校では、ロングライフ牛乳を児童に毎日提供しています。年間になると、約3万本も飲んでいる計算になります。ロングライフ牛乳は常温で長期間保存がきくため小笠原では重宝される一方、「保存料等がたくさん入っているのではないか？」という話を耳にすることがあります。

そこで今回、工場見学をし、担当者にお話を聞いてみました。

Q：ロングライフ牛乳には保存料等がたくさん入っていますか？

A：一切入っておりません。牛乳のみです。

Q：では、なぜ普通の牛乳と違い、常温で長期間保存がきくのですか？

A：それは普通の牛乳と製造の仕方が違うからです。①140℃の加熱殺菌②無菌操作③空気に触れないように注入することで、普通の牛乳より常温で長期間保存がきくようになります。

Q：加熱することで栄養価は変わりますか？

A：普通の牛乳と栄養価はほとんど変わりません。加熱することでたんぱく質を分解しており、普通の牛乳よりも体への吸収はされやすくなっています。

Q：普通の牛乳と風味が少し変わるのとはなぜですか？

A：普通の牛乳が135℃の加熱殺菌であり、この5℃の差で風味が少し変わっています。

牛乳はカルシウムが多く、小笠原の児童にとって貴重なエネルギー源でもあります。小学校高学年から中学校（成長期）にかけてはカルシウムの吸収率が高く、最も身長が伸びる時期でもあります（大人になってから牛乳を飲んでも身長が伸びる可能性は低いです）。2学期からも安心して牛乳を飲んでいくようにしましょう。

※食物アレルギーや乳糖不耐症の児童は無理ないようにしましょう。

